



ハメ ドウースト



みんな ともだち!



Tehran
Japanese
School

学校便り「ハメドウースト」
2024年度 第5号
2024年12月23日発行

多くの支えによる、大きな成長を見る

テヘラン日本人学校 校長 西田隆之

140日以上学校不在にしておりましたが、派遣教員6名全員が、ここテヘランに戻ってきました。国際情勢悪化が要因とは言え、それぞれの子どもたちにとっては大切な時間を寂しい思いにさせたり、十分な教育が受けられなかったりしたことを心苦しく思います。

その間、子どもたちはよく頑張ったと感心します。オンライン授業の毎日でしたが、集中力、学習意欲を切らすようなことはあまり感じませんでした。我々派遣教員も見込みもない中、「あと数週間もすれば…」と自分に言い聞かせて、モチベーションを維持していましたが、子どもたちも「もうすぐしたら、先生たちが帰ってくる」と思いながら、この日を待っていてくれたことと思います。保護者の皆様も、ネットで繋がる子どもと先生の様子を見て、不安も多かったと思いますが、“保護者茶話会”などでも優しく声をかけられることで、派遣教員は随分と助けられました。本当に、有難い存在でした。私は常々、本校の魅力である“家庭的な雰囲気”を誇らしく思っていますが、その良さがあったからこそ、こうした危機に乗り越えられたのではないかと思います。ありがとうございました。

オンラインで毎日顔を合わせていても、実際に対面してみると、どの子どもたちも大きく成長したことを感じました。体つきもそうですが、話しぶりから受ける心の部分も大きく成長していました。こうした子どもの成長は、保護者の皆様、現地スタッフ、見守り支援スタッフ、日本人会の方々によるものです。こうした多くの人の支えによって、子どもたちはたくましく成長することを強く実感しました。

オンライン授業しかできないことによって、“失った教育活動”がたくさんあります。残された時間は数カ月ですが、それを一つでも多く取り戻していきたいと考えております。そして、さらに、子どもたちがより多くの人の支えによって成長できるよう、多くの人との連携を大切に教育活動を展開してまいります。来年も、引き続き、よろしく願いいたします。

個性を發揮したオンライン発表会

11月24日、チェナール祭で行う予定だった学習発表会を『オンライン発表会』という形に変えて実施しました。プログラミングしたゲームを発表する子や、国語で学習した教材を音読劇にする子など、自分が一番伝えたい教科、内容を決め、思い思いの形で発表しました。

小規模校の本校ならではの発表形式により、それぞれの子の個性が發揮できました。

写真

さん、さん、
ありがとうございました。

派遣教員が不在の中、見守り支援スタッフとして、9月から、さんとさんにお世話になりました。先生のいない教室でのオンライン授業であったため、お二人の支援スタッフの存在は子ども達の心の支えとなりました。離任式で涙ぐまれるシーンを見ると、子ども達とのつながりの深さを感じました。これからも、都合が付きましたら、時折、学校に顔を見せてくださいね。

ありがとうございました。

写真

【1月行事予定】

- 1月 7日 冬休み明け集会
- 8日 発育測定
- 13日 クラブ活動
- 14日 初代エマームアリ生誕日
- 19日 百人一首大会
- 20日 委員会活動
- 27日 雪の野外学習週間(～30日)

明日から、冬休みです。人から、本から、イランをはじめとした異国から、たくさんの発見をしてることを期待しています。